



第3回学びの組織活性化プロジェクト

十二月七日(月)に、第三回目の学びの組織活性化プロジェクトが実施され、西別府教諭が2年生で英語の授業を行いました。
今回は、生福小・冠岳小の先生方も参加され、研究授業・授業研究等に一緒に取り組みました。

廣瀬准教授からは

- ・シャーロックのように事実の観察を丁寧に！
 - ・NGワードの使用はみんなまで回避しましょう。
 - ・子どもの姿(事実)の確認から、参加者の会話(分析)が始まっているかどうかには留意しましょう。
 - ・授業者の思いや願い(目指したい子どもの姿)を大切に、意識しながら、会話(分析)をすすめましょう。
 - ・子どもになりきって、心の声や気持ちを創造し、みんなでアイデアを出し合おう(知恵の共有)
- 等のお話がありました。

ポイント①: 子どもの立場になりきって考えてみる
①子どもの学びやつまづきは何に由来するの
かを考えることは、なかなか難しい。
そのために、
①子どもの立場になりきって、授業中にどの
ような気持ちになったかや、どうしてそう行
動したのかを考える。
②時間を巻き戻したり、早送りしたりして考
える。
教育的鑑識眼の一部